

第36回スマートマスター資格試験の出題ミスと取扱いについて

本年3月3日(日)、3月6日(水)に実施しました「スマートマスター」の試験におきまして、下記の通り出題ミスがありましたので、慎んで受験者の皆さまにお知らせいたします。

記

1. 該当の設問と訂正内容

1) 試験日:3月3日(日)

問題番号	カテゴリー	該当の問題文	誤り箇所とその訂正内容
スマートハウスの基礎 (休日) 問9-④ 【択一問題】	燃料電池	エネファームは燃料電池の種類により2つの方式がある。PEFC(固体分子形燃料電池)は作動温度が低く、起動から停止までの制御が容易であり、扱いやすいという特徴がある。(以下略)	→ 固体高分子形燃料電池

2) 試験日:3月6日(水)

問題番号	カテゴリー	該当の問題文	誤り箇所とその訂正内容
スマートハウスの基礎(平日) 問14-(ウ) 【穴埋問題】	ZEHに関する補助金要件	平成30年度(2018年度)ZEH支援事業において、ZEH導入設備の要件に含まれる(「ウ」)は、一次エネルギー消費量を削減する機器として評価されるが、普及を目的とした別の補助金が設定されているため、ZEHを促進するための補助金の対象にはなっていない。	(「ウ」)の正解として「蓄電システム」を想定 → 補助金の対象になっている。
スマートハウスの基礎(平日) 問14-(オ) 【穴埋問題】	ZEHに関する補助金要件	ZEH対象を拡大するために集合住宅にもZEHを設定し、4つに区分して補助内容を定めている。その区分はNearly ZEH-M(「オ」)、ZEH-M(地上1~3階建て)、ZEH-M Ready(地上4~5階建て)、ZEH-M Oriented(地上6階建て以上)の4つである。	(「オ」)の正解である「地上1~3階建て」が選択肢にない。

2. 採点上の取り扱い

- 1) 択一問題(上表の1) : 出題ミスの設問を選択した者にも「10点」を配点する。
- 2) 穴埋問題(上表の2) : 出題ミスの設問を無効とし、受験者全員に「2点」を配点する。

以上